

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.49

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	国保保健事業	担当部署	健康福祉部 保険課			
総合計画体系				根拠法令 計画など	国民健康保険法 国保法に基づく保健事業の実施等に関する指針 鳴門市保健事業実施計画(データヘルス計画)			
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業 期間	開始	平成	27 年度	
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと				終期	未定	
(小項目)		社会保障						
施策	8	国民健康保険制度の円滑な実施						
基本事業	2	医療費適正化の推進						
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input checked="" type="checkbox"/> SRP2020該当の有無								
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求								

◎事業概要(PLAN)

目的	鳴門市保健事業実施計画(データヘルス計画)に基づき、効果的かつ効率的な保健事業を実施することにより、被保険者の生活の維持・向上を図りつつ医療費の伸びを抑制するとともに健康寿命の延伸を図る。		事業内容(R1)	①保健指導:脂質異常・高血糖・高血圧のいずれかのリスクが高い方を対象に受診や生活習慣改善等保健指導を行う。特定保健指導対象者で糖尿病が強く疑われる方を対象に75g糖負荷試験を行う。 ②糖尿病性腎症重症化予防:高額な医療費となる人工透析の導入が危惧される糖尿病性腎症の方に栄養指導等保健指導を実施する。 ③早期介入保健指導:30歳以上40歳未満の被保険者を対象に健康診査を実施し、生活習慣病予備群への保健指導を実施する。 ④生活習慣病の重症化により、医療等社会保障費の増大につながっている実態等について周知を行う。				
実施方針	①保健指導事業 ②糖尿病性腎症重症化予防事業 ③早期介入保健指導事業		当初からの変更点					
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	重症化予防対象者の訪問実施人数	222	198	207	330	365	人
	2							
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	重症化予防対象者への訪問率		99.6	87.6	70.0	70.0	70.0	%
事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	各年度の実施(予定)内容	①保健指導 ②糖尿病性腎症重症化予防 ③早期介入保健指導事業	①保健指導 ②糖尿病性腎症重症化予防 ③早期介入保健指導事業	継続	継続	継続		
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度		
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額				
	計	23,564	0	23,564	25,243	25,243		

事務事業名	国保保健事業
-------	--------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容	①保健師による保健指導及び受診勧奨において、具体例を用いた分かりやすい資料により、疾病への理解を深めた。 ②保健師及び管理栄養士による保健指導を実施するとともに、かかりつけ医と連携を図り、継続した支援・治療につなげた。また、糖尿病が強く疑われる方を対象に、75g糖負荷試験を実施し、発症及び重症化予防を図った。 ③広報誌やLINE等の活用により、若年からの健診の必要性を広く周知を行うとともに、健診申込者にアンケートを実施し、啓発手段の有効性の把握に努めた。また、健診の結果、生活習慣病予備群の方には保健指導を実施し、疾病の発症予防に繋げた。 ④医療費の現状や医療費を節約する方法について周知を行うなど医療費適正化のための啓発に努めた。
	指標名	平成30年度実績 令和元年度実績 令和2年度目標 令和3年度目標 令和4年度目標 単位

活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	重症化予防対象者の訪問実施人数	198	252	330	365	400	件
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	重症化予防対象者への訪問率		87.6	84.8	70.0	70.0	70.0	%
	目標達成率(実績/目標)			121.1				%

事業費推移 (円)	年度		平成30年度決算	令和元年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費
	計		18,566,836	0	18,408,120	0	18,408,120
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	1,742,000	0	1,724,000	0	1,724,000
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源		16,824,836	0	16,684,120	0	16,684,120	

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	重症化予防対象者への訪問率		成果指標に対する所見	事業対象者に対して概ね戸別訪問等による保健指導を実施することができた。		
	目標	70	%				
	実績	85	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	①特定健診も治療も受けていない方は、重症化の実態が不明であり、効果的な方策により特定健診の受診者を増やしていく必要がある。 ②医療費が高額となる疾患(虚血性心疾患・脳血管疾患・糖尿病性腎症)や長期における入院の医療費の伸びを抑えることに加え、対象者の生活習慣病予防につなげていくための丁寧な保健指導を行い、治療や健診受診を継続していくための支援が必要である。 ③若年からの健診の必要性について、様々な媒体を活用してPRに努める。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和2年度	保健指導においては、健診データ等対象者の進捗管理を行い、必要に応じて医療機関と連携した保健指導を実施するとともに、特定健診未受診者に対しては受診勧奨を行い、継続受診者の増加を図る。若年者健診の利用者拡大のため、効果的な周知方法を検討する。
	令和3年度	事業内容の効果検証・分析を行いながら、被保険者の生活習慣の改善や疾病に対する意識変化に繋がりたい。